

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）総括表

【達成状況（自己評価）の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）	
	項目数	達成状況			
1 心身の健康と交流の場づくり	8	◎	0	0	・交流の場として、ふれあい事業を実施。（いきいきサロン、子育てサロン、散歩クラブ、食事サービス）内容の充実を図り、参加者が増えている。サロンの運営は行政やあんしんケアセンター、花見川いきいきプラザ・センターの協力を得て実施している他、ボランティアも多く関わってくれている。 ・子供を対象とした活動として「フードパントリー」「夏休みカレー食堂」「もちつき大会」を企画し、いずれも参加者が増え、成果をあげた。 また、「こども防災教室」や高齢化社会の諸問題をクイズ形式にした「みんなで歩いてビンゴ」を実施し、楽しく学べる場を提供した。 ・「福祉まつり」「福祉フォーラム」「障害者バス旅行」「介護予防教室」「食と子育て」等、地域住民、学校、福祉関係施設、福祉団体、ボランティアの連携、協力のもと、広い世代に福祉に触れる機会を設けた。
		○	6		
		△	1		
		×	1		
2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	14	◎	0	0	・要支援者等への生活支援のための活動（買い物、ゴミ出し、外出の支援等）の実施。主な活動として、家具の移動、電灯の交換、粗大ごみの搬出、掃除など実績あり。福祉施設の送迎車を利用した買い物支援事業を月に1回定期運行している。 ・要支援者等への見守り活動の実施。見守り対象者の現状の把握に努めた。 ・避難行動要支援者名簿に基づき、要支援者宅の家庭訪問を実施。 ・災害時の備えのために、防災マニュアルの整備や地域指定避難所施設、非常用井戸の登録、LPG発電設備設置を実施。 ・地域でのイベント参加。敬老会、町民体育祭、花園ハスまつり、区民祭り、特別支援学校主催のミニ集会、授業参観などを通じて、顔の見える関係づくりに努めた。 ・多様な主体との連携強化のため、地域ケア会議、地域運営会議、学校評議会、公民館運営懇談会に出席。
		○	11		
		△	2		
		×	1		
3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	7	◎	0	0	地区部会や自治会の中から、高齢者が地域の各種行事にスタッフとして参加するほか、障がい者が避難所運営委員会に参加したり、地域のイベントにおいて障がい者施設で作成する物品の販売をするなど、さまざまなアプローチで社会参加を推進している。 また、地域高齢者の社会参加のために、高齢者向けスマートフォン教室を開催するなどの工夫も見られる。
		○	3		
		△	3		
		×	1		
4 安全・安心なまちづくり	2	◎	0	0	・身近な災害への備えとして避難所運営委員会による避難所開設訓練に参加。 ・自然災害対策に関するアンケート調査を実施。アンケート調査をもとに、マニュアル未整備の自治会に対し、「防火防災組織と任務分担」マニュアルを提供した。 ・防災、防犯パトロールの実施。 ・自治会単位での防災訓練の実施。 ・小学校のセーフティウォッチャーを担い、通学路の安全対策に努めた。
		○	2		
		△	0		
		×	0		
今年度の振り返り	31	◎	0	0	・交流の場づくりとして、いきいきサロン等の開催状況はおおむね目標が達成できた。また、柏井地区のふるさと祭りも4年ぶりに復活開催された。一方で少子高齢化の影響により、こどもの少ない地域では、こどもカフェを立ち上げたものの、参加者が少ないことも課題として残る。 また、様々な取り組みの参加者や担い手を募る手段として、SNSやホームページでの情報発信について改めて見直された年でもあった。
		○	22		
		△	6		
		×	3		
今後の課題と方針	全体的に、地域福祉活動の担い手不足が大きな課題となっている。特に助け合い活動では、独居高齢者が増え、支援要請も増えてきている。支援を行うボランティアの高齢化により担い手が不足しており、新たなボランティアの確保が必要となる。 また、自治会への若い世代の未加入が増えて、自治会の弱体化が懸念されている。防災活動や敬老会、こども会など、自治会主導で実施されるものだが、単位自治会が広く合同で行うなどの検討が必要である。 今後は地区部会や町内自治会に限らず、地域福祉活動の多様な主体と連携し、社会資源の活用と新規事業の掘り起こしに取り組んでいきたい。				

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	8月6日（火）	・委員長・副委員長の選任について ・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）について ・花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和5年度）の提出について ・第5期支え合いのまち千葉推進計画 中間見直し版について
第2回	12月17日（火）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）中間報告について ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第26号）原稿案について ・支え合いのまち推進計画の令和5年度の推進状況について【再掲】
第3回	3月10日（月）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）実績報告について ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第26号）の発行について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第26号	3月19日（水）	発行部数：6,000部 主な配布先：各町内自治会へ郵送、窓口配布270部

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

検見川地区部会 『ふれあいサロン検見川』

検見川地区部会では、毎月第3金曜日に「ふれあいサロン検見川」を検見川公民館で開催しています。
70歳以上の方を対象に、健康に関する測定や専門家のお話、季節の工作やビンゴゲームなど工夫を凝らした内容で、地域の高齢者の交流の場として親しまれています。
この日（令和6年12月20日）は、あんしんケアセンター職員から防犯に関してのお話があり参加者の方々はうなずきながら聞いていました。その後、新年の千支のへびをモチーフにした飾りをつくり、材料を切ったり貼ったり、周りの方と見せ合ったり、和気あいあいとした時間となりました。最後は毎回恒例になっている歌の時間で、参加者からのリクエスト曲をみんなで歌い終了となりました。初めての方でも気軽に参加できる、楽しいサロンです。



花見川第二地区部会『ふれあい喫茶』

花見川第二地区部会では、毎月第2木曜日に「ふれあい喫茶」を花見川いきいきセンターで開催しています。開催時間中の出入りは自由で、好きな時間に来ることができ、地区部会の方が美味しいコーヒーや紅茶を入れてくれます。高齢者だけではなく、世代を超えたふれあいの場として、コロナ禍前は、児童とその母親なども一緒に参加されていました。

また、コミュニティ形成の場として、「ふれあい喫茶」で顔見知りとなり、新たな繋がりのできかけになっています。

この日（令和6年12月5日）のふれあい喫茶では、和やかな雰囲気の中、コーヒーや紅茶を飲みながら各テーブルでおしゃべりに花が咲いていました。参加者の方々は、次回にまた会えることを楽しみにしていっぱいしました。



あんしんケアセンター幕張『たんぽぽ広場秋の収穫祭』

地域にある「たんぽぽ広場」の一角をお借りし、民生委員さんのご協力も得ながら、高齢者と共に月に1度、花や野菜を植える活動をしています。広場には、近隣の保育園児も外遊びに来ており、高齢者と保育園児の交流できる場となるよう、また多世代交流の場として多くの方に活動を知っていただけるよう、「収穫祭」というイベントを企画しました。令和6年11月19日、広場で育てたカブやラデッシュ、さつまいもを収穫し、バルーンアート、紙芝居、折り紙、シャボン玉等も企画し、皆さんで楽しみました。3か所の保育園児に加え、地域住民の方々、小さなお子さん連れのお母さん、民生委員の方々、地域で働く福祉関係職員など、総勢100名以上の方々にご参加いただきました。今後も、園芸作業を通じて、高齢者や園児のみならず、地域の方々が気軽に交流を持てる場所となるよう活動を続けていきます。



あんしんケアセンターさつきが丘『エンジョイさつきが丘』

令和6年10月より、さつきが丘地区で健康づくり教室「エンジョイさつきが丘」がスタート、健康意識の維持・向上を目的に、年3回「健康づくり」にまつわる活動を企画しています。初回は、ポッチャ体験を開催し、15名の高齢者の方々にご参加いただきました。ルールの説明を受けた後、3対3の団体戦を行いました。どうすれば相手よりボールを近づけられるか、仲間同士で作戦を練ることも脳トレになります。「あの位置を狙ったらどう?」「すごい!すごい!」と声をかけ合い、交流することもできました。終了後の健康意識調査では、参加のきっかけは「健康維持・体力づくり」が最多、参加したことによって感じた良い効果は「気持ちや意識」が最多でした。また、「交友関係」に良い効果があったと感じた方も多く、健康づくりは、体力向上はもちろん、気持ちや意識、仲間づくりにも効果を感じている人が多いことが分かりました。



地域住民等『ふみこさんの家』

幕張にある古民家で、空き家を活用した取り組みが行われています。人と人が繋がる居場所づくりを目的に毎月第2・4水曜日に地域住民に開放されています。所有者の名前にちなんで「ふみこさん家」と名付けられ、事前連絡不要で自由に出入りができ、どなたでも参加可能です。初めての方やお一人の方でも、おしゃべりや庭いじり、手作業、体操などをしたり、何もなかったり、好きなように時間を過ごすことができます。

令和6年11月27日は、ボランティアの方々による介護予防体操から始まり、脳トレ、歌、朗読の時間の後、おしゃべりや手作業など、それぞれ自由に楽しんでいっしょにしました。

毎回、みなさん心まちにしている、アットホームな居場所となっています。



上の台小学校避難所運営委員会・花見川区役所『避難所開設・運営訓練』

令和6年11月20日、上の台小学校にて、花見川区避難所開設・運営訓練を実施しました。避難所運営委員会の皆さんを中心に、地域の方々にもご参加いただきました。避難所の開設訓練としては、避難者の受付方法の確認をはじめ、マンホールトイレの設置方法、段ボールベッド、電気自動車を使った給電等の設備について学びました。また、会場内では災害時に役立つ知識として、花見川消防署による応急手当講習や、赤十字奉仕団による「着る毛布」「新聞紙でスリッパ作り」などを体験できるブースも設けられました。参加者は、熱心に訓練に参加され、地域の防災意識の高さを感じました。避難所においては、住民主体による運営と住民同士の助け合いの精神が重要であると感じた、訓練内容となりました。



花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
検見川地区部会エリア	2 支え合い、助け 合いのできる地域 社会づくり	○	⑥ ・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組めます。また、その充実・強化を図ります。	・地域内の高齢者を対象にお困り事等のアンケートを取り、どう進めていくか検討する。同時に支援員の募集を行う。	・委員会として話し合いが進んでおらず、人ごとのように受けとめられている。	×	・地域内の高齢者を対象にお困り事等のアンケートを取り、どう進めていくか検討する。同時に支援員の募集を行う。	・来年度には責任者を決め、その人を中心に進めていきたい。
【人口・世帯数】								
12,948人、7,002世帯								
【町内自治会数】								
5町内自治会								
【高齢化率】								
18.8%								
【地域の特徴】	3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	○	⑪ ・地域での声かけをしたり、地域でのイベント、広報紙(地区部会だより)、区ボランティアセンターを活用し、ボランティアの発掘や育成に努めます。	・広報紙や区ボランティアセンターを通じてボランティア募集活動に努める。	・人を集める講座を開催したが、人が集まらず、まず、その方向から計画しなくてはと感じる。	△	・広報紙や区ボランティアセンターを通じてボランティア募集活動に努める。	・年度はじめに、講座開催を実施する計画を立て、給食・サロンのない夏の時期に人集めの講座を開催したい。
検見川神社を中心とした古い町。								
		○	⑬ ・地域住民やこどもに地域の魅力や福祉をテーマとした研修・講座を開催します。 ・地域住民やこどもに地域福祉活動の体験の場を提供します。	・ボランティア養成講座を開催する。	・事ある毎に声かけはしているが、なかなか興味をもってもらえない。	×	・ボランティア養成講座を開き、1人でも多くの人に地域福祉活動を知ってもらい興味を持ってもらう。	・まず、社協のことをわかっていただき、協力しようという意識を育てる。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
花園地区部会エリア	2 支え合い、助け 合いのできる地域 社会づくり	○	④	・花園地区部会の伝統的な活動及び「花園お せっかい」活動を通じて、住民同士の顔の見える 関係づくりに努める。 ①高齢者福祉: 敬老会・ふれあい食事会 ②児童母子: 子育てサロン・親子の集い(音楽会 など) ③健康福祉: 公園清掃・グラウンドゴルフ ④ボランティア: いきいきサロン ⑤福祉ネット: 啓発ポスター・チラシの作成・見守 り新鮮情報 ⑥広報: 地区部会だより ⑦重点取組み項目: 「花園おせっかい」「避難所 に関する情報交換」「イベントの再開対応」 ⑧防災訓練の実施: 各避難所の避難所開設・運 営訓練 ①～⑧を実施する。	①花園地区部会での伝統的な活動: 「敬老会」: 9/28 花園中学校アリーナにて開催 75歳以上の参加者: 580名 スタッフ出演者含 む総計856名 「ふれあい食事会」: 未着手 ②経常的な実施: 子育てサロン(実施回数: 14 回、参加者延べ264名、ボランティア84名) 親子の集い: 春の音楽会(花園中吹奏楽部ス プリングコンサート: 3/20 340名) ③公園清掃とグラウンドゴルフ(累計 29回 392 名) ④いきいきサロン(累計 52回) ⑤啓発ポスター、チラシの作成・見守り新鮮情報 ⑥地区部会だよりの発行(2回) ⑦重点項目として「花園おせっかい」の継続(チ ラシ・ポスター) 行事終了後のアンケートの実施 情報の伝達 ⑧アンケートにより花園地区自治会における自 然災害対策を把握、大手自治会からマニュアル 類の提供を受け、福祉ネットワーク委員会から、 未整備自治会に配布。水平展開を実施中。	○	・花園地区部会の伝統的な活動及び「花園お せっかい」活動を通じて、住民同士の顔の見える 関係づくりに努める。 ①高齢者福祉: 敬老会・ふれあい食事会 ②児童母子: 子育てサロン・親子の集い(音楽会 など) ③健康福祉: 公園清掃・グラウンドゴルフ ④ボランティア: いきいきサロン ⑤福祉ネット: 啓発ポスター・チラシの作成・見守 り新鮮情報 ⑥広報: 地区部会だより ⑦重点取組み項目: 「花園おせっかい」「避難所 に関する情報交換」「イベントの再開対応」 ⑧防災訓練の実施: 各避難所の避難所開設・運 営訓練 ①～⑧を実施する。	①花園地区部会の伝統的な活動: 敬老会はほ ぼ計画通りに実施できた。 今後、参加人数が伸びた場合は一度には収 容できないため、今から検討が必要だと思われ る。 ②子育てサロン 認知度が上がって参加者が増 えてきているが、担当者の負担も増えている。ボ ランティア制度とは言いながら、やはり負担を減 らす方策を考える必要がある。 親子の集いとして実施しているスプリングコン サートは花園中の生徒さん頼りになっているが、 なんとか継続をしていたい。 ③公園清掃をした後のグラウンドゴルフはすっか り定着しているが、一定数以上には増えない。地 域からも感謝されているので、PRを増やす必要 がある。 ④いきいきサロン もっと広げていきたいが、世 話人に限定がある。自治会レベルでのPR が必要 。啓発方法を考える必要がある。 ⑤⑥⑦いずれも「花園おせっかい」として粘りが 必要である。 ⑧自治会レベルの防災活動に範囲を広げた活 動で、理解を得る必要があるが、手を出してい る。継続性が求められる。
【人口・世帯数】 21,201人、 10,246世帯 【町内自治会数】 23町内自治会 【高齢化率】 23.5% 【地域の特徴】 JR新検見川駅北側に展開する古くからの住 宅地と花見川区役所を中心とする新しい住宅 地(高層マンション群を含む)からなる。東大 総合グラウンドに隣接、東西に貫く桜並木は 有名。西側に花見川、千本桜緑地がある。				「花園おせっかい」のPR 各種行事におけるPR ・チラシ・ポスター・回覧を通した啓発活動実施 (5回)。 ・町民体育祭への参加(10/6(日))。 ・花園ハスまつりへの参加(子ども行進・観蓮 会・納涼まつり)7/13(土)、14(日)。 単位自治会の夏まつり・はなぞの文化祭(花園 公民館利用グループによる) ・花見川区民まつり(10/27)への参加。 ・大賀ハスのふるさとの会への参加。 各種地域活動への参加によるPR ・民生委員児童委員協議会、自治会活動(単位 自治会)、花園地区町内自治会連合会 各行 事。 ・花園中学校区(第7地区)町内自治会連絡協 議会、学校評議員。 ・学校関係等 学校行事への参加学校行事へ の参加(昔遊びなど 花園小学校・瑞穂小学校) セーフティウォッチャー・ゲストティーチャー。 ・防災マニュアルの水平展開 アンケート活動の 結果、先進自治会のマニュアルの提供を受けて 未整備の自治会に提供。	○	避難所に関する情報交換 ・感染症対策を含んだ避難所計画の立案、機材 の準備はまだ十分でない。能登半島地震での教 訓を踏まえて、大型地震の対策について考える。 また普及のため「花園おせっかい活動」のチ ラシ・ポスターを活用。「花園地区部会の伝統的な 活動」の安定的な実行について、地域の力を結 集していきたい。具体的には、「敬老会・ふれあ い食事会・親子の集い・スプリングコンサート・子 育てサロン・公園清掃・グランドゴルフその他の イベント等」の実施ができる体制を整備。	・「花園おせっかい」は、こちら側から声をかけ て、お手伝いをするというところから出発してい る。当部会としてはこの趣旨に沿って業務に当た ることにしているが、難しいところである。 ・人手不足が一番大きな障害であるが、急には 解決できない。 ・自治会等との連携に一層努力をしていきたい。	
4 安全・安心なま ちづくり		○	⑮	・防災訓練を実施します。 ・避難所開設・運営訓練を実施 します。 ・新型コロナウイルス等感染 症に対応した避難所運営委 員会マニュアルの見直しを行 います。	・各避難所では避難所運営委員会により、防災 マニュアルや防災マップを活用して、避難所訓練 を行っている。また、災害時の安否確認、分散避 難食料支援などは避難所ごとの条件が異なり、 それぞれの自治会の判断により、多少違いがみ られる。 引き続き、社協の立場、対応方針、訓練参加な どについて関係機関と情報交換を密にして、対 応していく。	・瑞穂小学校避難所運営委員会による避難所開 設訓練と避難所の備品調査等へ参加した。 (8/25 瑞穂小学校) ・花園地区部会福祉ネットワーク委員会による 「花園地区自治会における自然災害対策」につ いて、ガーデンプラザ新検見川自治会と新検見 川団地防火防災会作成のマニュアルと実施事例 をベースとしたアンケートを実施。また、花園地区 の大手自治会で使用している「防火防災組織と 任務分担」のマニュアルの提供を受け、これら 「花園おせっかい」の積極的展開の例として未整 備の自治会に配布し水平展開を図った。	○	・各避難所では避難所運営委員会により、防災 マニュアルや防災マップを活用して、避難所訓練 を行っている。また、災害時の安否確認、分散避 難、食料支援などは避難所ごとの条件が異な り、それぞれの自治会の判断により、多少違い がみられる。 引き続き、社協の立場、対応方針、訓練参加な どについて関係機関と情報交換を密にして、対 応していく。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
朝日ヶ丘地区部会エリア	1 心身の健康と交流の場づくり	○	③ ・世代の違いや障害の有無を超えた交流やイベントなどを実施します。 ・高齢者施設や障害者施設などでのボランティア体験や施設主催のイベントへ参加します。	・ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、ふれあいコンサート、障害者バス旅行、いきいきサロン、子育てサロン、健康体操など、交流と介護予防活動に重点を置いて実施していく。 ・スタッフの増員や会場の再検討など、事業内容の拡充を図る。	・歌声喫茶の復活を最後にコロナ以前の活動をすべて取り戻した。 ・ふれあい食事サービス、障害者バス旅行、交流サロンふれあい、いきいきサロン、子育てサロン、介護予防体操、歌声喫茶など、交流と介護予防活動に重点を置いて実施してきた。 ・ふれあいコンサートは、これまで出演をお願いしてきた地元出身の音大生が社会人になり、スケジュール調整が難しくなって実施できなかった。代わりにふれあい喫茶を一回増やして実施した。 ・参加者数も多く活動で従前の規模を取り戻し、時に予想以上の参加者に驚くという状況も生まれている。	○	・ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、ふれあいコンサート、障害者バス旅行、いきいきサロン、子育てサロン、介護予防体操、歌声喫茶など、交流と介護予防活動に重点を置いて実施していく。 ・これまでの活動はイベント型だったが、日常的なサービスの実施可能性について検討を行う。 ・スタッフの増員や会場の再検討など、事業内容の拡充を図る。	・年数回実施というイベント型の事業に加えて、日常的な事業を加えたいと考えているが、即応的な体制を作るのが難しい。試みに、手軽な準備のできる「おしゃべり広場(仮称)」の開催を計画している。
【人口・世帯数】								
10,510人、5,432世帯								
【町内自治会数】								
12町内自治会	2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	○	⑩ ・地域福祉活動にあたり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンター、障害者基幹相談支援センター、学校、社会福祉事業者、企業、ボランティア団体、NPO、企業など地域の多様な主体との連携強化を図ります。	・復活した活動の内容充実を図る。	・アフターコロナ、もしくはウィズコロナの状況に合わせて、従来の活動を復活、再生することができた。 ・あんしんケアセンターとの連携による講演会(「交流ふれあい広場」)を2回、区高齢障害支援課と千葉西警察署移動交番の協力による防犯講座1回を開催した。 ・地域運営委員会、中学校の学校評議会、公民館の運営懇談会、朝日ヶ丘小学校区体育祭が再開され、それぞれ部長が出席した。 ・地区内の高齢者福祉施設3施設との運営推進会議は、1カ所を除いて再開した。	○	・復活した活動の内容充実を図る。 ・令和8年度に地区部会創立30周年を迎えるため、30周年記念事業の準備を行う。	・あんしんケアセンターの運営主体が変わったことに伴い、改めて連携の在り方について協議し、活動する必要がある。 ・中学校の土日休日の活動の中止・外部化に伴い、社協の活動の場としての利用が困難になる可能性があるが、中学校との協議により、継続を図りたい。
【高齢化率】								
39.2%								
【地域の特徴】								
戸建、団地、マンションの混じった住宅地。	3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	○	⑫ ・広報紙の発行やホームページ、SNS、集いの場、イベントなどでの地区部会活動や地域福祉情報を発信します。	・広報紙の内容充実を図る。	・これまでの広報紙発行を続けながら、SNSを通じた広報活動の方策の検討(他地区の事例調査、広報に関する住民、関連団体の意向調査など)を始めたが、有効な手段が見えてこない。 ・広報紙面の構成を刷新し、写真が多く見やすい形に変えた。 ・地区内自治会等の掲示板を用いての広報を強化している。 ・地区部会常任理事会において、とくに人員拡充に関する方策案を各委員会に求め、それを軸に、広報に特集記事を掲載した。これまで4名の新規参加者を得ることができた。 ・地区の文化祭において、地区部会の活動を広報するためのパネル展示を行った。その結果、新たに1名の参加希望者を得ることができた。	○	・広報紙による情報発信の充実。 ・令和8年度の当地区部会の創立30周年に備えて、記念事業の準備を開始する。	・管内自治会の会員の高齢化、減少が続いている。令和6年度で解散する自治会も出てきた。自治会から退会した高齢世帯、自治会に加入しない若い世帯への広報がますます困難になる。 ・社協スタッフの高齢化も続いているが、積極的な募集活動が続ける。 ・地区内自治会等の掲示板を見てイベントに参加する方が多いことが分かり、掲示板を用いての広報を強化している。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
犢橋地区部会エリア	1 心身の健康と交 流の場づくり	○	① ・いきいきサロン、散歩クラ ブ、健康体操、ふれあい食事 サービスなどを実施します。 ・子育てサロン、こども食堂、 こどもカフェなどを実施しま す。 ・要支援者(認知症高齢者・ 要介護者・障害者)やその家 族が集える場づくりを行いま す。	・「こども食堂」の一環としてフードパントリー(年6 回)、夏休みカレー食堂の継続実施。 ・子どもと高齢者が交流できる場を地区内数カ所 に分けてつくる。 ・「餅つき大会」を実施する。	・「子ども食堂」の一環として、フードパントリー (年6回)開催。 ・「夏休みカレー食堂」の継続実施(参加人数は 去年の倍に)。 ・「餅つき大会」の復活実施(12/1、参加人数は 約200名にのぼり大盛況に)。 ・「防災教室」の実施(3/2、約80名が参加、今回 は大人も参加)。	○	・「フードパントリー」「夏休みカレー食堂」や「餅つ き大会」を開催。さらには花見川いきいきプラザ とタイアップして高齢者向けイベントを開催する。	・「防災教室」の継続実施。 ・子ども食堂の一環として開催している「フードパ ントリー」の継続実施(2カ月毎に)。 ・「夏休みカレー食堂」「餅つき大会」の継続実 施。
【人口・世帯数】								
10,501人、5,639世帯								
【町内自治会数】								
15町内自治会								
【高齢化率】								
29.9%								
【地域の特徴】								
昔からの農村地域(犢橋町)と昭和30年代に 開発された新興住宅地があり、戸建て住宅の 多い地域。								

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
こてはし台中学校区地区部会エリア	2 支え合い、助け 合いのできる地域 社会づくり	○	⑥ ・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組めます。また、その充実・強化を図ります。	・見守り対象者の現状把握と見直しを継続して推進する。 ・各支部単位で、福祉活動推進員、自治会を含めた活動(情報交換、共同行動)を強化する。 ・見守り対象者とのコミュニケーション手段としての「見守りたより」を4回発行する。 ・生活支援のニーズを把握し、できるところから支援を実施する(自治会との協働)。	・11月に見守り対象者を含めた「ふれあい秋フェスタ ～ポッチャを楽しもう～ 」を開催した(約80名が参加)。 ・12月にポッチャ大会の報告を兼ねた「見守りたより」を発行、また、3月にも「見守りたより」を発行し、見守り対象者、町内自治会に配布、回覧した。 ・各支部のふれあいサロン活動、食事を継続実施した。 ・2月に約60名参加の地区全体の食事を実施、併せて地区の情報交換を実施した。 ・昨年度に続き、地域にある「県立特別支援学校」主催のミニ集会や授業参観などに参加し、交流と理解を深めた。 ・見守り活動を継続実施。	○	・見守り対象者の現状把握と見直しを継続して推進する。 ・各支部単位で、福祉活動推進員、自治会を含めた活動(情報交換、共同行動)を強化する。 ・見守り対象者とのコミュニケーション手段としての「見守りたより」を4回発行する。 ・生活支援のニーズを把握し、できるところから支援を実施する(自治会との協働)。	・見守り活動の継続実施と各支部のふれあいサロン活動の開催。 ・ポッチャなどのイベント開催。 ・広報活動の継続実施。 ・横戸台では、見守り希望者が増えているため、今後検討が必要である。
【人口・世帯数】								
5,269人、3,551世帯								
【町内自治会数】								
10町内自治会								
【高齢化率】								
29.9%								
【地域の特徴】								
新興住宅地と旧農村								

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
幕張・武石地区部会エリア	【人口・世帯数】 5,690人、2,924世帯 【町内自治会数】 3町内自治会 【高齢化率】 20.3% 【地域の特徴】 旧住民と新住民との混合地域。高齢化が進んでいる。現在区画整理が進められている。	○	① ・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。 ・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。 ・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。	・ふれあいいきいきサロンを月2回実施する。 ・ふれあい食事サービスを年4回実施する。	・「ふれあいいきいきサロン」は、月2回実施することができ、内容の充実を図ることができた。 ・「ふれあい食事サービス」は、年4回実施することができ、その内2回は会食及び配食での実施ができた。	○	・ふれあいいきいきサロンを月2回実施する。 ・ふれあい食事サービスを年4回実施する。	・「いきいきサロン」は、今後も内容の充実と、参加者の増加を図っていく。 ・「食事サービス」は、会食者の負担を軽くするために会食会場を近くにする。
	2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	○	⑦ ・災害時要支援者支援体制を構築します。そして、体制構築後は、体制の充実・強化を図り、研修会や訓練などを実施します。	千葉県から新しく提供される要支援者名簿に基づき、対象者の見直しを行い、再度要支援者宅を訪問する。	千葉県から提供された避難行動要支援者名簿に基づき、対象者の見直しを行ない、支援者宅の訪問を行うことができた。	○	千葉県から新しく提供される要支援者名簿に基づき、対象者の見直しを行い、再度要支援者宅を訪問する。	町内自治会により、取り組み(支援体制)に差がある。
		○	⑧ ・認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催や声かけ訓練などを実施します。	関係機関と連携を図りながら、会員相互のステップアップのための講座を開催する。	・認知症サポーターステップアップ講座として、あんしんケアセンター幕張との連携による認知症予防のための講座「睡眠と健康」の開催や花見川いきいきプラザとの連携による「健康テレビゲーム体験」を実施した。	○	関係機関と連携を図りながら、会員相互のステップアップのための講座を開催する。	関係機関と連携を図りながら、会員相互のステップアップのための講座を開催する。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
花見川地区部会エリア								
【人口・世帯数】								
10,441人、4,534世帯								
【町内自治会数】								
18町内自治会								
【高齢化率】								
39.3%								
【地域の特徴】								
戸建住宅(昭和30年代後半より入居)、農林地帯、UR団地(分譲)、マンション群の混在地域。								
	1 心身の健康と交流の場づくり	○	① ・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。 ・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。 ・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。	・ふれあい3事業は76サークルでスタート。 ・敬老会の開催、地区子ども会行事の開催。	・ふれあい3事業は12月末現在で79サークルが活動中。 ・敬老会は7ヶ所(7会場)で開催。出席者396名、出席率21.5%。 ・柏井地区子ども会育成連絡会 主催「みんなで歩いてビンゴ」11/23開催、86名参加。	○	・ふれあい3事業を95サークル。 ・敬老会の開催、地区子ども会行事の開催。	・ふれあい3事業は高齢化に伴い、当初目標が困難になってきた。 ・敬老会は、単独自治会、サークルでの開催を推進したい。 ・地域参加支援事業(元気会など)の活性化。
	2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	○	⑥ ・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。	・見守り活動の推進 ・子ども会行事にコラボして見守り訓練 ・地域ケア会議の開催	・見守り活動実施中(2自治会、3サークル 対象人数88人) ・「みんなで歩いてビンゴ」で高齢化社会の諸問題を小学生向けにクイズで問いかけ。 ・地域ケア会議を2ヶ所3自治会で実施。6、9、12、3月開催。	○	・見守り活動の推進 ・子ども会行事にコラボして見守り訓練 ・地域ケア会議の開催	・少子高齢化に伴い、活動が衰退化する方向であるが、その打開策として、1自治会、1地域でなく、より大きな範囲での活動を心掛ける。 ・柏井地区ふるさとまつりが復活開催された。
	4 安全・安心なまちづくり	○	⑮ ・防災訓練を実施します。 ・避難所開設・運営訓練を実施します。 ・新型コロナウイルス等感染症に対応した避難所運営委員会マニュアルの見直しを行います。	・防犯・防災活動の実施。	・防災、防犯パトロールを毎月実施。3自治会52人/月(4~12月平均)。 ・歳末防災防犯パトロール6自治会実施。 ・防災訓練実施 千代の台10/10(57名)、花見川住宅、5街区、花見川こうやまき、南柏井12/14(63名)、鷹の台1/19(約60名)。	○	・防災、防犯活動の実施。	・コロナ禍で縮小、中止された事業も個々に復活。 ・避難所運営委員会と併催しながら開催。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
花見川第2地区部会エリア	2 支え合い、助け 合いのできる地域 社会づくり	○	⑥ ・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。	・支え合い活動の継続実施。 ・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。	・花見川団地内で実施している支え合い活動「ハンド ハンド」を継続実施した。主な活動は、家具の移動、電灯の交換、粗大ゴミ降ろし、話し相手、ごみ捨て、掃除などであった。 ・活動の普及・啓発については、8月と3月の年2回、地区部会だよりを発行し、地区部会活動の紹介を行った。 ・他地域でも、支え合い活動を組織化したいという気持ちはあるが、高齢化が進んでおり、なかなか難しい状況である。	○	・支え合い活動の継続実施。 ・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。	・地域全体が高齢化しているため、担い手不足が深刻化している。 ・花見川団地以外の地域への活動普及が進まない。 ・花見川団地内の支え合い活動を継続するとともに、地域全体に活動の機運が広まるよう、引き続き広報啓発活動に努める。
【人口・世帯数】 10,646人、 6,493世帯								
【町内自治会数】 7町内自治会								
【高齢化率】 40.0%	3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	○	⑩ ・地域での声かけをしたり、地域でのイベント、広報紙(地区部会だより)、区ボランティアセンターを活用し、ボランティアの発掘や育成に努めます。	・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。 ・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。	・昨年に続き、花見川いきいきプラザ、花見川いきいきセンターの職員を講師に迎え、2/6、13、19の3日間、健康体操教室を開催、高齢者の介護予防に努めるとともに、担い手の確保、担い手のスキルアップに努めた。 ・広報啓発については、8月と3月の年2回、地区部会だよりを発行し、地区部会活動の紹介を行った。 ・その他、地区部会の行事(グラウンドゴルフ、食事会等)を通じて、地区部会の広報啓発活動に務める。【グラウンドゴルフ:3/6、14、21実施、食事会:3/4、11】	○	・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。 ・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。	・担い手不足は、深刻な問題であるが、引き続き、養成講座開催や広報紙を活用した担い手の育成・確保に努める。
【地域の特徴】 花見川団地を中心とした住宅地。地区内には図書館、市民センター、児童福祉センターなどが整備されている。								
	3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	○	⑪ ・地域での声かけをしたり、地域でのイベント、広報紙(地区部会だより)、区ボランティアセンターを活用し、ボランティアの発掘や育成に努めます。	・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。 ・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。	・昨年に続き、花見川いきいきプラザ、花見川いきいきセンターの職員を講師に迎え、2/6、13、19の3日間、健康体操教室を開催、高齢者の介護予防に努めるとともに、担い手の確保、担い手のスキルアップに努めた。 ・広報啓発については、8月と3月の年2回、地区部会だよりを発行し、地区部会活動の紹介を行った。 ・その他、地区部会の行事(グラウンドゴルフ、食事会等)を通じて、地区部会の広報啓発活動に務める。【グラウンドゴルフ:3/6、14、21実施、食事会:3/4、11】	○	・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。 ・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。	・担い手不足は、深刻な問題であるが、引き続き、養成講座開催や広報紙を活用した担い手の育成・確保に努める。
	3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	○	⑫ ・地域住民やこどもに地域の魅力や福祉をテーマとした研修・講座を開催します。 ・地域住民やこどもに地域福祉活動の体験の場を提供します。	・こども達の居場所(花見川団地こどもカフェ)の運営を継続するとともにを立ち上げるとともに、内容の充実に努める。	・昨年度(令和5年9月)より、花見川団地内のレンタルスペース「はなみがわLDK+」にて開始した、こども達の居場所「花見川団地こどもカフェ」の活動を継続した。 今年度も、毎月第2土曜日の10時～12時に実施、毎回10名前後のこども達が参加している。令和7年1月は、JEFの選手によるイベントも企画、選手からランチョンマットのプレゼントもあり、子どもたちに大変好評であった。	○	・こども達の居場所(花見川団地こどもカフェ)の運営を継続するとともに、内容の充実に努める。	・団地内に子どもが少なく、参加者が少ないのが課題である。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
こてはし台地区部会エリア	1 心身の健康と交流の場づくり	○	① ・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。 ・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。 ・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。	・年数回の交流の場を開催する。	・「喫茶室“つどい”」は8月から自治会館の館耐震工事で休止していたが、9月より再開し利用者は休止前の水準(約50名強/日)まで回復している。 ・「子育てサロン」は保健師、地域保健推進員、栄養士、歯科衛生士さらに多くのボランティアの方の協力を得て実施することができ、徐々に参加者が増えてきている。 ・「ふれあい食事会」は自治会館の館耐震工事で予定より4回少ない5回で実施した。 ・「いきいきサロン」、「ふれあい散歩クラブ」は2つの老人クラブで実施している。 ・認知症、障害のある方やその家族の方が集える交流の場づくりは「〇〇カフェ」が、あんしんケアセンターこてはし台や障害者福祉作業所と連携し、実施されている。	○	・「喫茶室“つどい”」と交流の場を、同一箇所で実施することについて検討する。	・各活動を継続して実施しつつ、参加者を増やす工夫をしていく。
【人口・世帯数】 5,711人、2,859世帯								
【町内自治会数】 1町内自治会		○	③ ・世代の違いや障害の有無を超えた交流やイベントなどを実施します。 ・高齢者施設や障害者施設などでのボランティア体験や施設主催のイベントへ参画します。	・新規事業の具体的な実施時期・内容等について検討する。	・新規事業の体的な実施時期・内容等についての方針はまだ達成できていない。	×	・地域運営会議に参画したので、連携し新規事業の検討をする。	・今後も検討を続ける
【高齢化率】 44.2%								
【地域の特徴】 昭和46年に千葉県住宅供給公社が開発した戸建中心(テラスハウス25%)の住宅街。		○	⑩ ・地域福祉活動にあたり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンター、障害者基幹相談支援センター、学校、社会福祉事業者、企業、ボランティア団体、NPO、企業など地域の多様な主体との連携強化を図ります。	・「地域ケア会議」で検討された課題について検討する。	・9月に開催された「地域ケア会議」に参加し、今後の地域福祉活動の担い手をいかに確保するかについて意見交換を行ない、2月に第2回目の「地域ケア会議」に参加の予定。 「横戸台・こてはし台ボランティアの会」とは常に連携している。	○	・「地域ケア会議」で検討した課題について検討する。	・「地域ケア会議」での意見交換を元に活動の見直しをする。
		○	⑫ ・広報紙の発行やホームページ、SNS、集いの場、イベントなどでの地区部会活動や地域福祉情報を発信します。	・公共機関(図書館・公民館)などの協力を得て、住民に役立つ情報を収集、発信する。	・「街づくりホームページ」の内容の更新を行った。	△	ホームページ内容の検討と同時にSNSの活用についても検討を進める。	・「街づくりホームページ」の更新では自治会とも連携し、チームを編成し実施していく。また、SNSによる発信も継続して行う。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
天戸中学校区地区部会エリア	1 心身の健康と交流の場づくり	○	② ・健康や介護予防をテーマとした講習会や研修会などを開催します。	・地域サロン活動の活性化と活動場所の拡大を推進する。	・地域におけるサロン活動の活発化を目指し、リーダーとしてサロン活動を主導できる方(地域資源の発掘と地域活動への参加の促進)、行政窓口、あんしんケアセンター花見川、花見川区健康課、花見川いきいきプラザ・センター等の協力を得ながら、サロン活動を行うことができた。	△	・地域サロン活動の活性化と活動場所の拡大を推進する。	・地域福祉を担当する方々への更なるステップアップとリスクリングを目的としたセミナーの開催の充実を目指す。
	2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	○	⑤ ・既存のサロンなど身近な場所や専門機関による相談の場を設けたり、民生委員やあんしんケアセンターなどの相談先の紹介を行います。	・広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、相談先の啓発活動を行うとともに、地区部会活動に相談機関を招き、参加の相談に対応する。	・ホームページやSNSを活用して地域活動の告知を進めることができた。 また、昨年から始めたセミナーに、地域の方々からの聴講者が徐々に増加してきており、行政が進める地域福祉制度を知って頂くことに貢献することができた。	△	・広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、相談先の啓発活動を行うとともに、地区部会活動に相談機関を招き、参加の相談に対応する。	・SNS・メールマガジンを使い地域で起きている事を地域の方々に知って頂く活動が必要と考える。
	3 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	○	⑩ ・広報紙の発行やホームページ、SNS、集いの場、イベントなどでの地区部会活動や地域福祉情報を発信します。	・広報紙・メールマガジン等を活用して地域への情報提供を促進するとともに、メルマガ会員数の拡大を目指す。	・情報発信ツールとしてのメールマガジン、ホームページ等を通じて地域福祉活動の情報発信を行い、メルマガ会員数を増加することができた。	△	・広報紙・メールマガジン等を活用して地域への情報提供を促進するとともに、メルマガ会員数の拡大を目指す。	・地域で起きた事をSNS・メールマガジンで地域の皆様に知って頂く事が必要と考える。

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
さつきが丘・宮野木台地区部会エリア	1 心身の健康と交流の場づくり	○	③ ・世代の違いや障害の有無を超えた交流やイベントなどを実施します。 ・高齢者施設や障害者施設などでのボランティア体験や施設主催のイベントへ参画します。	『福祉まつり』を年1回開催し、広い世代、障害の有無、立場を超え、地域の多くの人々が集い、福祉に親しむ機会を設ける。	・令和6年6月9日(日)に、第12回『福祉まつり』を開催。 ・令和6年12月8日(日)障害者福祉委員会による「福祉フォーラム」を2年ぶりに開催。 ・令和7年3月7日(金)児童母子福祉委員会による「食と子育て」を開催。 地域住民、学校、福祉関係施設や団体、ボランティアなど、多くの方々の協力のもと、広い世代に福祉に触れる機会を設けた。	○	・『福祉まつり』を年1回開催し、広い世代、障害の有無、立場を超え、地域の多くの人々が集い、福祉に親しむ機会を設ける。	・引き続き、『福祉まつり』をはじめ、福祉関係行事を開催 ・当地区部会発足20周年、また地域にある横橋貝塚が発掘100周年祭(10/25)の開催を予定していることから、福祉まつり等を記念行事として開催し、多世代交流の活性化を図っていきたい。 ・「あいさつ運動」も継続し、『福祉まつり』の中でもアピールしていく。
【人口・世帯数】								
10,277人、5,357世帯								
【町内自治会数】								
15町内自治会								
【高齢化率】								
35.3%								
【地域の特徴】	2 支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	○	⑥ ・要支援者等への見守り活動・安否確認活動の実施、緊急通報システムや安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組めます。また、その充実・強化を図ります。	・「ご近所のたすけあい」活動を実施。 ・ボランティア活動の周知と改善。ボランティアの確保に努める。	・「ご近所のたすけあい」活動を継続実施。	○	・「ご近所のたすけあい」活動を実施。 ・ボランティア活動の周知と改善。ボランティアの確保に努める。	・「ご近所のたすけあい」活動を継続実施するとともに、ボランティア活動の周知と改善に努める。 ・ボランティアの確保に努める。
古くからある閑静な農村地域と、その後比較的新たにできた住宅地域を含む地区。								

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)【個票】

【達成状況(自己評価)の目安】
◎: 年度目標以上のものが達成できた場合 ○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合 ×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
畑地区部会エリア	2 支え合い、助け 合いのできる地域 社会づくり	○	⑥ ・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組めます。また、その充実・強化を図ります。	・朝のゴミ出し支援活動を継続するとともに、広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業の定期運行を実施する。	・朝のごみ出し1回。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業定期運行7月より月1回運行実施。 毎回4～5名の方が参加、10月(1名)、1月(1名)と参加者が増え、2月は車2台で実施。	○	・朝のゴミ出し支援活動を継続するとともに、広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業の定期運行を継続実施する。	・朝のごみ出し支援活動を継続するとともに広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業は、引き続き定期運航を実施。参加者が増えた場合の対応について検討する。
【人口・世帯数】								
6,197人、2,908世帯								
【町内自治会数】								
6町内自治会								
【高齢化率】								
30.9%								
【地域の特徴】								
古くからある閑静な農村地域と、その後比較的新たにできた住宅地域を含む地区。								